

101社・団体が出展、ID First -IoTはIDから-

AUTOID & COMMUNICATION EXPO

第19回 自動認識総合展

2017年9月13日(水)～15日(金)、東京ビッグサイト 東6ホール

開催時間 10:00～17:00 [3日間とも]

一般社団法人日本自動認識システム協会(通称 JAISA[ジャイサ]、東京都千代田区 会長 春山 安成)は、2017年9月13日(水)～15日(金)の3日間、東京ビッグサイト(東京国際展示場)東6ホールにて、「第19回自動認識総合展 AUTOID & COMMUNICATION EXPO 2017」を開催いたします。また、併設で「BT Spice自動認識セミナー(B^{ビジネス}・T^{テクノロジー}スパイス)」を開催いたします。

本展示会は、自動認識技術に以前から求められていた「省力・効率」の分野に加えて、社会において人が安心して生活できる「安全・安心」の分野、物流・製造等現場の「見える化」の分野での「バーコード、二次元シンボル、RFID(Radio Frequency Identification)、画像認識、バイオメトリクス(生体認証)」などの先端自動認識技術、及びこれらの技術を生かしたソリューション(物流、流通、生産、施設オフィス管理支援など)や応用システムを展示するものです。

来場者は、自動認識ベンダーのみならずコンピュータ関連業界をはじめ、アパレル、飲料、食品、出版、流通、物流、医療、オフィス管理、施設管理さらには公共関係と広範囲にわたり、その職種も開発、企画、営業、情報システム、設計から生産管理、購買担当の方々と多岐にわたっています(第18回は約28,000人が来場)。開催概要は下記の通りです。

- ◆展示会名：「第19回自動認識総合展」
- ◆会 期：2017年9月13日(水)～15日(金) 10:00-17:00(3日間とも)
- ◆会 場：東京ビッグサイト[東京国際展示場] 東6ホール
- ◆主 催：一般社団法人日本自動認識システム協会
- ◆後 援：総務省/外務省/経済産業省
- ◆開催規模：101社・団体 268小間(同時開催展全体：436社・団体・研究室 1,087小間)
- ◆入 場 料：1,000円(インターネット来場事前登録者・招待券持参者は無料)
- ◆併催事業：BT Spice 自動認識セミナー
主催者・出展社プレゼンテーション(JAISAセッション、自動認識システム大賞受賞企業発表、出展社プレゼンテーション)
自動車技術ゾーン、ロボット技術ゾーン(6展示会合同のパネル展示)
- ◆ゾーン展示：モバイル&ウェアラブルゾーン
画像認識ゾーン
センサネットワークゾーン
- ◆同時開催展示会：IFPEX2017(フルードパワー国際見本市)
(同一会場内開催) 測定計測展
センサエキスポジャパン2017
SUBSEA TECH JAPAN 2017
TEST2017(第14回総合試験機器展)
- ◆展示会事務局：株式会社シー・エヌ・ティ

▼国内唯一の自動認識技術、ソリューションの専門展示会

本展示会は、「バーコード・二次元シンボル、RFID、画像認識、バイオメトリクスといったIDの最先端技術」と「ID技術を活用した、業務の効率化、省力化・コスト削減、安全・品質管理、顧客サービス向上のための自動認識ソリューション」の2本柱にて構成されます。展示内容は、「参加101社・団体によるブース展示」と「自動認識技術の活動を紹介するJAISAコーナー」、聴講無料の「主催者・出展社プレゼンテーション」などとなります。

▼「BTSpice自動認識セミナー」

本展示会に併設される「自動認識セミナー」は東京理科大学大学院教授 荒木勉氏をセミナー委員長に迎え、ユーザの視点を意識したセミナーを実施します。

本セミナーは3日間開催され、8タイトルの講演が用意されています。

講師は各界の専門家が切り口鋭く実例などまじえながら最新の自動認識技術を講演し、通常ではなかなか聴講できないセミナーとなっております。

9月13日(水)

基調講演 【無料】 《同時開催6展示会合同企画》

「『Connected Industries』の実現に向けた今後の取組について」

経済産業省 産業機械課長 片岡 隆一 氏

特別講演 【無料】 《同時開催6展示会合同企画》

「人を幸せにするモノづくり」

経済評論家、中央大学ビジネススクール客員教授 勝間 和代 氏

9月14日(木)

S01 「コンビニ電子タグ1000億枚宣言」実現に向けた今後の取り組み 【有料】

「コンビニにおける電子タグ活用とローソンの取り組み」 (株)ローソン 白石 卓也 氏
「電子タグによる小売・流通変革」 パナソニック スマートファクトリーソリューションズ(株) 足立 秀人 氏
「RFID 新たな世界・広がり」 慶應義塾大学 教授 三次 仁 氏
《パネルディスカッション》 三次 仁 氏 (慶應義塾大学)、森 祐樹 氏 (セブン&アイ・ホールディングス)、
三澤 健司 氏 (ファミリーマート)、白石 卓也 氏 (ローソン)、
足立 秀人 氏 (パナソニック スマートファクトリーソリューションズ)、
紀伊 智顕 氏 (みずほ情報総研)、浅野 耕児 氏 (流通システム開発センター)

S02 自動認識のベストプラクティス 【有料】

「アパレルサプライチェーン物流領域におけるICタグ活用実験について」 (株)アダストリア 丸子 淳一 氏
《パネルディスカッション》 荒木 勉 (自動認識セミナー委員長)、清水 伸治 氏 (ビームス)、
音松 博之 氏 (オートボックスセブン)、南里 太郎 氏 (パナソニック)、

9月15日(金)

S03 社会システムでの活用 【有料】

「爪Qシールの開発と行政の認知症施策での活用について」

入間市役所 長谷川 直人 氏
(株)オレンジリンクス 杉本 一彦 氏
ヤマト運輸(株) 畠山 和生 氏

「物流業界が抱える問題と次世代物流サービスの姿」

S04 製造分野での活用事例 【有料】

「製造現場からの要求に対するRFIDソリューションの活用事例」
「多品種少量生産の組み立て加工工場におけるIoT活用事例」

ジック(株) 秋元 信行 氏
(株)日立製作所 沖林 久徳 氏

S05 医療での最新活用事例 【有料】

「医療トレーサビリティ確立の重要性」
「何故、インハウスにおけるオーダリングシステムの開発に至ったか」

東京医療保健大学 落合 慈之 氏
磐城済世会 松村総合病院 阿部 真弓 氏
磐城済世会 松村総合病院 小関 貢 氏

S06 物流分野での活用 【有料】

「アパレルオムニチャネルにおけるRFIDとクラウドサービス活用事例」

(株)アサヒ・リンク 谷 剛志 氏

トーヨーカネツソリューションズ(株) 柳下 典男 氏

「自動認識技術の生産現場への適用事例「ビーコンを活用した運搬作業と管理の見える化」」 (株)デンソー 坂野 政信 氏

▼主催者・出展社プレゼンテーション ※聴講無料

【JAISA セッション】

自動認識の統計調査報告や基礎知識講演（チュートリアルセッション）、事業成果発表などを行います。

9月13日(水)	9月14日(木)	9月15日(金)
市場統計調査報告 「自動認識機器等の2016年度出荷 統計調査報告」	チュートリアルセッション1 「バーコード・二次元シンボル編」	チュートリアルセッション3 「バイオメトリクス編」
	チュートリアルセッション2 「RFID 編」	

【JAISA フォーラム】

自動認識の関連規格や事業成果発表などを行います。

9月13日(水)

「これから拡がるサプライチェーンでのRFID活用」 ～サプライチェーンへのRFID適用JIS規格制定～ 「サプライチェーン用RFID規格普及への取り組み」 ～国際物流上での金属製パレットのRFID化実証実験の紹介～ 「！！プリンタとリーダの性能評価方法が大幅に変わります！！」 ～バーコードプリンタ及びバーコードリーダの性能評価仕様のJIS開発～ 「被災者支援システム上の避難者身元特定への生体認証の活用」 「コモンライテリアを適用したバイオメトリクス装置の第三者評価・認証」

【自動認識システム大賞受賞企業発表】

JAISAが毎年表彰している「自動認識システム大賞」の今年度受賞システムの発表を行います。

9月13日(水)

ミライアプリ(株) / アイメックス(株) リングスキャナとスマートウォッチの次世代ウェアラブルシステム	特別賞
(株) オレンジリンクス 徘徊のおそれのある認知症高齢者を支援するQRコードシステム	フジサンケイ ビジネスアイ賞
(株) NTTドコモ / (株) サイバーリンクス 画像認識AIを活用した商品棚認識システム	優秀賞
(株) テクノメディカ / 富士通フロンテック(株) RFID検体情報統括管理システム“TRIPS”	優秀賞
トッパン・フォームズ(株) / ヤマト運輸(株) ヤマト運輸株式会社が提供する「手ぶらチェックインサービス」におけるRFIDの活用	大賞

【出展社プレゼンテーション】

今回も出展企業が展示会場内で自社の製品・ソリューションをプレゼンする「出展社プレゼンテーション」を行います。発表企業は以下の通りです。

9月14日(木)	9月15日(金)
NXP ジャパン (株)	NXP ジャパン (株)
(株) シフト / (株) インフォファーム	島津エス・ディー (株)
凸版印刷 (株)	(株) マーストークンソリューション
ゼブラ・テクノロジーズ・ジャパン (株)	(株) グレープシステム
(株) トラスト・テクノロジー	アイメックス (株)
(株) RFID アライアンス	ゼブラ・テクノロジーズ・ジャパン (株)
キャノン IT ソリューションズ (株)	(株) M2 モビリティ
	(株) テララコード研究所

▼ゾーン展示

【モバイル&ウェアラブルゾーン】

製造、運輸、流通、店頭などの現場ではモバイル端末の存在は今や珍しい物ではなくなりました。それに加え身に付けて作業効率を上げるためのウェアラブル機器が昨今注目を集めております。それらのモバイル&ウェアラブルと自動認識技術が融合することによりさまざまなイノベーションが予想されます。

本ゾーンでは、モバイル端末・モバイル連携機器、ウェアラブル機器などを集めたゾーンを新設いたします。出展企業は以下の通りです。

アイメックス（株）、（株）ウェルキャット、ウェルコムデザイン（株）／CipherLab Co., Ltd.
（株）オプトエレクトロニクス、集佳股份有限公司（GIGA-TMS INC.）、シェン・ヒーロー（株）
大同産業（株）、（株）リオテック

【画像認識ゾーン】

カメラ付きの携帯電話やスマートフォンが急速に浸透して、今では一人が一台画像認識ツールを保有して利用する時代となったといっても過言ではありません。製造工程での活用やセキュリティ用途の拡大はもちろんのこと、生活者がもっと身近に活用し情報入手するなどさらなる可能性を秘めています。

自動認識総合展では、画像認識技術による個体パターン認識や画像処理による画像情報の認識、バーコード認識、文字認識（OCR）、指紋・顔認証などを中心に、企業や生活者が利用できる応用技術など幅広く先進の画像認識技術を集めたゾーンを設置いたします。出展企業は以下の通りです。

（株）アプロリンク／（株）エーディーエステック、キャノン IT ソリューションズ（株）、（株）グレースシステム
（株）スカイロジック、（株）デジタルメディアプロフェッショナル、デュプロ（株）
（株）Top Image Systems Japan、（株）とめ研究所、（株）トラスト・テクノロジー、日精（株）／（株）シフト
富士フイルムイメージングシステムズ（株）、（株）ブレイン、（株）リンクス

【センサネットワークゾーン】

RFID や NFC 等の自動認識で、家電・自動車・食物・流通製品などの様々な“モノ”を認識しインターネットに接続することで管理する IoT（Internet of Things）や機器間のネットワークでつなぐ M2M

（Machine to Machine）などセンサネットワークが注目を集めております。用途は製造工程、スマートハウス、交通、ヘルスケア、医療、農業、エネルギー管理、セキュリティ、災害対策など多岐にわたり、次世代社会を支える情報インフラ基盤として期待されております。

自動認識総合展では、無線通信技術、センサ技術、クラウド、データ解析など、自動認識技術でつながる各種センサおよびネットワーク構築を集めたゾーンを設置いたします。出展企業は以下の通りです。

ICOP I.T.G.（株）、NOK（株）、（株）M2 モビリティ、（株）村田製作所

尚、このほかにも公式サイト上で展示会のご案内をしておりますのでご参照ください。

<http://www.autoid-expo.com>

●公式サイト「プレスの方へ」では、以下データがダウンロード可能です。

1. 「第 19 回自動認識総合展」ロゴデータ
2. 「自動認識セミナー B・T Spice」のロゴデータ
3. 「2016 年度の会場風景などの写真」
4. 「ポスターデータ」

----- <お問い合わせ先> -----

展示会事務局

（株）シー・エヌ・ティ 担当 = 吉田

Tel.03-5297-8855 Fax.03-5294-0909 info@autoid-expo.com

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-24-3 FORECAST 神田須田町 4F